

欣喜堂

はとバスに「国会議事堂と東京スカイツリー」というコースがあったので、これに参加することにした。東京駅丸の内南口を出発し、皇居・二重橋前・千鳥ヶ淵・半蔵門を周回し、国会議事堂見学。昼食後、東京スカイツリー天望デッキからの展望。車窓から新しくなった歌舞伎座を見ながら、東京駅丸の内南口へ到着するというコースだ。

二〇一三年五月二五日。午前九時五〇分に東京駅丸の内南口を出発。皇居を車窓から見ながら、ほぼ時間通りに国会議事堂前に到着。

国会議事堂は一九二〇年に着工されたが、関東大震災の影響などもあって、一七年の歳月を要して一九三六年に完成した。見学までかなり長い時間待たされた。母は高齢なので立ったままでは心配だった。やっと担当の職員が来て見学が始まったが、いきなり三階まで階段を上がるという。

参議院の傍聴席に到着し、やっと一息つく。傍聴席に座って担当者の説明を聞く。そこから、国会議事堂の内部を巡りながら、階段で降りてゆく。議事堂の石材は、ほとんどすべてが国産だそう。わが国の石材の豊富なコレクションの展示場といえる。柱や壁、階段の手摺りの石材には、各種の化石を見出すことができる。さらにはシャンデリア、ブラケットなどの金工、議長席や演壇、壁面、扉の木彫など、見るものすべてが美術品・工芸品である。昼食後、車窓からいろいろな方向から眺めながら、東京スカイツリーに近づいてくる。東京スカイツリーの天望デッキへは、天望シャトルと呼ばれるエレベーターで一気にながら上っていく。眼前に地上三五〇メートルからの展望が開けていく。さらに上の展望回廊に行くこともできる。

KOJIKU もち銘石 B

